

中学校内で起きるネットいじめの予測

黒川雅幸（愛知教育大学）

キーワード：ネットいじめ，タブレット端末，学校

問題と目的

児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査（文部科学省，2017）では，平成27年度における「パソコンや携帯電話等で，誹謗中傷や嫌なことをされる。」いじめが小学校で2,075件，中学校で4,644件認知されたことが報告されている。児童，生徒は原則として学校へ携帯電話等を持ってきてはならないとされているため（文部科学省，2009），これらのいじめは学校以外のところで起きていていると考えられる。

しかし，タブレット端末が児童・生徒に配付され，授業で活用されるようになってきており（e.g.，中岡・豊田，2014；大後戸・久保・坂田，2015；山本・中村・森川，2015），今後タブレット端末を使用したネットいじめが起きないとも限らない。タブレット端末が1人1台配付または貸与された時に，ネットいじめがどのように起きそうであるかを想定しておくことは，いじめを未然に防ぐことに有効であると考えられる。

以上より，本研究では，小・中学校内で起きることが想定されるネットいじめの（1）起きる場面（シーン），（2）態様について，幅広く想定しておくことが目的である。

方 法

調査対象者 教員養成系大学に在籍する3，4年生246名（男性113名，女性133名）であった。
質問紙 中学校を想定して回答してもらった。タブレット型コンピュータを生徒に配付・貸与して使用させた場合，どのような場面（シーン）で，どのような態様のネットいじめが起きることが考えられるかについて，（1）授業中，（2）授業以外の時間のそれぞれについて自由記述で回答してもらった。ただし，学級内のメンバーとやりとり可能なローカルなネットワーク環境が整っていると仮定した。インストールされているソフトウェアについては，想像のうえで，回答してもらった。

結 果

授業中

いじめの場面（シーン） 自由記述で回答されたものを分類し，各分類の回答度数を算出したところTable1の結果が得られた。

ネットいじめの態様 いじめの場合同様に，自由記述で回答されたものを分類し，各分類の回答度数を算出した（Table2）。

Table1 授業中のいじめ場面の回答度数

生徒主体 の活動	教師が目を 失敗	教師が目を 離している	自由	決め事
110	102	33	7	6

注）1人で複数の回答がみられたものは複数にカテゴリ化している。

Table2 授業中のいじめの態様の回答度数

不快な メッセージ	動画 画像	ウィ 強要	ル 陰口	データ 無視	共有しない
136	42	19	2	78	37

注）1人で複数の回答がみられたものは複数にカテゴリ化している。その他として，タブレット端末を取り上げていたずらする（データの消去など）が回答された。

授業以外の時間

いじめの場面（シーン） 自由記述で回答されたものを分類し，各分類の回答度数を算出した（Table3）。

ネットいじめの態様 自由記述で回答されたものを分類し，各分類の回答度数を算出した（Table4）。

Table3 授業以外のいじめ場面の回答度数

休み時間	放課後	部活	給食	朝の会	学校行事
120	12	5	5	3	3

注）1人で複数の回答がみられたものは複数にカテゴリ化している。

Table4 授業以外のいじめの態様の回答度数

動画 画像	メッセ ージ	なり すまし	ウィ 強要	呼び ル 出し	陰口	無視	データ
74	55	6	5	3	3	83	20

注）1人で複数の回答がみられたものは複数にカテゴリ化している。その他として，タブレット端末を取り上げていたずらする（データの消去など）が回答された。

考 察

大学生の回答からは，生徒が自由にタブレット端末を使用できる場面（生徒主体の活動や休み時間）において，ネットいじめが起きる可能性が示唆された。教師は使用のルールを決めておくこととともに，端末の利用制限も考えておく必要があるだろう。また，積極的に情報モラル教育を行っていくことも求められる。

■JSPS 科研費 16K17311 を受けたものである。